

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 7 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 26 | 介護計画は家族様の面会時や電話などで意見や思いを聴き取り、そのニーズに沿ったものを作成しているが、ご家族にはそのことが理解されていなかった。 | ご家族の意見をより深く聴き取り、意向は介護計画に反映されていることを説明し、理解いただく。 | ご家族向けの聴き取りシートを粘り強く送付し、お返事のないところは、様々な会話の中から要望を聞き取り、介護計画に反映されていることを伝え、理解いただく。 | 6ヶ月 |
| 2 | 47 | 診療の結果は、特変などある場合は連絡しているが、健康状態が変わりなく、処方される薬もさほど変わらなければ連絡していなかった。 | ご本人の健康状態を細かく知っていただき、ご家族と共に、本人を支援していく。 | 処方箋をご家族に届ける。 今の健康状態をお知らせと共に、理解していただく。 | 3ヶ月 |
| 3 | 4 | 各フロアでの入居者の今の暮らしぶりを全家族に知らせる機会がなかった。 | 今のフロアの現状を知っていただく。 | 運営推進会議において、今のフロアの現状(介助の実情、日々の暮らしの様子など)を各フロア長が報告し、書面をもって全家族にお知らせする。 | 3ヶ月 |
| 4 | 27 | 特変なく過ごされる入居者はカルテ記入が短文になりがちである。 | カルテ記入の充実を図る。見過ごしていたことを発見をすることにより、的確な計画を作成し支援をおこなう。 | より深く関わり、日々の介護記録に観察欄を設ける。 | 6ヶ月 |
| 5 | | 職員と管理者との面談の機会をもっていなかった | 個人の思いなどを、面談することにより意欲的な職務への姿勢につなげる。 | フロア長と職員の面談の提案をいただいたが、現場の職員から、管理者との面談を希望する声があり、実施する。 | 1年 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。